

第39号



市P連だより

尾道市PTA連合会

平成27年7月発行

【事務局】 〒722-0043

広島県尾道市東久保町20番14号

おのみち生涯学習センター内

TEL (0848) 37-7353

FAX (0848) 37-7354

E-mail: jimukyoku@onomichi-pta.net

いあつち



尾道市PTA連合会
第20代会長
山元 剛介

昨年に引き続き2年目となります。尾道市PTA連合会の会長を承りました山元剛介です。単Pの方も栗原中学校の会長をしております。保護者の皆様には平素よりPTA(育友会等)活動に積極的にご参加されておられる事、また各単位PTAの会長様・母代の皆様を始め役員の方々には「子ども達の為に」という思いで様々な場面で活躍されておられる事に対して敬意を表する所であります。

義務教育の期間におけるPTA活動はご承知の通り子どもが在学中しか関わる事が出来ません。その期間が長いように思われるかもしれませんが人生の中のほんのわずかな時間でしかありません。子どものためにも積極的にPTA活動にご参加いただきたいと思えます。子どもは仕事や家事に忙しい中、自分達の為に朝早くから夜遅くまで一生懸命に活動している親の姿を見ています。子どもにも何か心に残るものがあったり感じるものがあると思います。学校生活は集団生活です。自分の子どもに様々な事を学んでほしいと思うならば学校全体がそういった環境にならなければ学校全体が素晴らしい環境にならなかなければならないとあります。当然、子ども達が様々な事を学べる環境になるよう学校も努力をしている事と思いますが、これからはより学校と家庭の連携というものが大切になってきます。保護者の皆様もいろいろな行事等に参加し学校を後押しすると同時に家庭でも学校が考えている方向性と同様の方向性を持って「親として」「子どもに接していただく」と思っています。

では、具体的にPTAの役割はどういった所にあるのでしょうか。各単位PTAによっ

て様々な考え方や取組方があると思いますが、私自身は前述したように子ども達が様々な事を学ぶ事の出来る環境を学校と協力しながら一緒に作って作ってゆく事が大切な役割の一つであると考えています。もう一つの大切な役割は親同士の交流が盛んになるよう行事等を通じて人間関係を構築していくことと考えています。これはいじめ防止や早期発見に大きな影響を与えたいと思います。

尾道市PTA連合会としても会長会や役員会を通じて情報交換や会員相互の交流を継続してゆきたいと思えますし、そういった場をより提供できるように考えて行きますので多くの方に市P連を利用していただきたいと思えます。また市P連の大きな事業としてソフトラレーボール大会と教育フォーラムが上げられると思いますが、この大会の意義を考えた時に一つの会場に一千名を超える多くの会員の方が集うという事が挙げられます。みんなで親睦を深めたり、みんなで講演や実践発表を聞いたりする事で参加された方が子ども達の為にこんなにも多くの会員の方たちが関心を持ち勉強をし、頑張っているという事をしてもう一つ大切な事のように思えます。

今年度は市P連として非常に大きな枠組みですが家庭教育といった点とPTA会員の積極的な参加といった2点を考えながら活動してゆきたいと思っています。2点目に関しては様々な機会を利用してお願いをしてゆくという事になると思いますが1点目の取組に関しては家庭教育という非常に幅が広くどこに焦点を当てるか難しいところがあります。

「おはようで始まる幸せな一日」といった10ヶ条を中心として考えてゆきたいと思っています。

尾道全体から、また各地域から子ども達の明るい声がいっつも聞こえるように親として子ども達の将来の為に単P役員の方、関係諸団体の方、市P連役員の方たちと一緒にみんなで取り組んでゆきたいと思えます。保護者の皆さんにとっては子どもがいる今しか出来ない活動です。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

定例総会



5月16日(土)に尾道国際ホテルにて、平成27年度定例総会が開催されました。

出席者は130名、委任状提出が12名で、会則に基づき総会が成立していることの報告があった後、議事に移りました。

議事では、平成26年度の会務報告、決算報告がされ、会計監査委員より監査報告があった後、全会一致で承認されました。

その後、市P連会長に前年度に引き続き山元剛介さん、その他役員、会計監査委員の提案がされ、すべて承認されました。

山元剛介市P連会長の所信表明に引き続き、平成27年度事業計画、予算案が審議され、審議事項はすべて承認されました。

山元会長からは、一般的に子ども達の教育には「学校・家庭・地域」が適切な役割分担を果たしつつ、相互に連携して行われることが重要だといわれています。

そこで、今年度は「家庭」について考える機会を持つことが出来ればと思っています。と挨拶をされ、会場から大きな拍手が起きました。

総会の終了後、市P連主催の研修会が開催されました。講師は尾道市教育委員会学校経営アドバイザーの石畑晴章様で、「「栗原しぐさ」がめざしたもの」と題した講話がありました。平成18年に尾道市立栗原小学校の校長先生に就任されたときに、「栗原しぐさ」という言葉に出会われたということでした。「栗原しぐさ」とは「江戸しぐさ」と通じる場所があり、相手を思いやる気持ちがある言葉になり、行動になるといってお話の中で、教職員を巻き込んで学校全体に「栗原しぐさ」を浸透させていった。その結果、学校全体の一体感が増したという、とても興味深い研修会でした。

その後、PTA功労者表彰規定に基づき、安藤前中学校会長を会長をはじめ多くの方々に栄誉ある賞を贈られました。

旧役員の方々も、大変お疲れ様でした。



表敬
訪問

要望書の提出

7月3日(金)に市P連正副会長と幼P連正副会長により、平谷市長、高本市議会議員、佐藤教育長に挨拶と要望書を提出するために、表敬訪問をしました。

表敬訪問時における要望書提出は、各小中学校及び、幼稚園からの個々の要望に合わせ、PAT連合会として一丸となった要望を行うことで尾道市の教育発展のため、さらには尾道の次世代を担う子ども達のために、教育環境の改善を図ることとの願いから行われているものです。

市P連からは、近年気象の変動が激しいため、引き続き勉強をする環境としての暑さ対策のお願い、経験豊富な退職された先生方を補助の先生として配置、耐震化工事はもとより、校舎の老朽化による外壁コンクリートの剥離・落下等が確認されているので、子ども達の安全安心な学校生活を送るために早期に補修等の対策を重点要望事項としてあげました。

あわせて、会員の皆様が参観日等学校との関わりの中で、感じたことを集約した個々の要望書の内容が少しでも現実のものとなるようにと、市P連会長から重ねて要望させていただきました。



筆頭副会長

宗田雅弘

本年度、筆頭副会長を務めさせていただきまず、因島南・因北・重井中学校ブロックの宗田雅弘です。



山元会長の元、市P連役員として行政や学校との連携、各単Pとの意見交換等のお手伝いが出来るよう努力してまいりますので、皆さんのご協力よろしくお願いいたします。

今年度PTA会長、母親代表になられた方、初めての方もおられると思いますが、難しく考えず各学校での問題点や意見等を市P連に挙げてくだされば、出来る事を助言、ご協力させていただきます。

さて私事です、PTA役員になって一番良かった事は、子どもとの会話がなくなった事です。それまでは担任の先生と話すこともなく、学校行事にもあまり協力的で無かったように思います。それが、役員になり担任の先生を始め校長先生、教頭先生、保健の先生などと会話をし、子どもの普段の行動が分かるようになりました。今までは、学校から帰り「今日は、どうだった?」と聞くと「別に・・・」「普通・・・」との返事。それが、「○○先生が、あなたの△△を頑張っている姿が良かったよ」と聞いたと言ふと、嬉しそうにその事について説明してくれます。子どもも褒められると嬉しいんですね。共通の話題を持つ事で少しずつですが、会話が增えたように思います。

今年度のソフトバレーボール大会の当番校である瀬戸田中学校ブロック、教育フォーラムの当番校である向東中学校ブロックの皆さんよろしくお願ひ致します。最後に、この一年間の行事を通して、たくさんの親子の笑顔が見れるよう活動して参ります。

どうぞよろしくお願ひいたします。

総務部担当 副会長

楢賀庸雄

本年度、総務部担当の副会長をさせて頂きまず、日比崎中学校ブロック代表・日比崎小学校PTA会長の楢賀庸雄です。



昨年度は小学校会会長・会長をさせて頂いておりましたが、今年度は総務部を担当する事となりました。昨年度とは担当する内容も変わりますので、新たな気持ちで今年度も活動させて頂きます。

総務部の役割は、事務局の運営・予算立案・会議の議案作成・各行事における受付の運営・各単Pの情報収集・相談窓口となつております。

自分自身が初めて単位PTA会長となつた時、初めて市P連に携わった時、「何が分からないのか分からない」と感じた事を今でも覚えております。そんな気持ちを忘れずに、自分の分かる範囲内は勿論、分からない事があれば諸先輩方の意見や力を借りながら、気軽に相談出来る窓口として、単Pの活動や市P連の活動が円滑かつ発展的に運営出来るように、努力していきたいと思つております。

PTA活動の基本は、各単位PTAの活動が充実する事が最も大切な事です。

各単位PTAの活動内容を、より充実したものにす為の情報提供や、各単位PTAだけの力では出来ない事の意見を取りまとめて、大きな団体の意見として情報を発信する事により、尾道市内それぞれの小・中学校と、そこに通う児童・生徒を取り巻く環境がより良い状況となる事を目指して活動していくのが市P連の役割だと思つております。

これを読まれている方は、それぞれの単

位PTA活動に携わっている方だと思ひますので、それぞれの単位PTA活動を行う時、協力してくれる人の存在が重要な事を実感されていると思ひます。

皆さま方からの御協力により成り立っているのがPTAという組織ですので、宜しくお願い致します。

安全部担当 副会長

柴川輝明

今年度も引き続き安全全部担当の副会長をさせて頂きます、御調中学校PTA会長の柴川輝明です。



今年度PTA活動も最後の一年となりました。市P連活動を通じて多くの保護者の方々と出会い「親業」という共通点から、各学校で抱えている問題や、1人の親として悩んでいたことを話し合いながら活動して行く中で、自分自身の成長にもつながり多くの「友人」という宝物が出来ました。PTA活動を通じて得た「人との出会い」に感謝です。

本年度も、児童・生徒の生活と安全に係わる活動として「こども110番事業」が主な活動となりますが、保護者の方々には、山元会長の方針の中にもありました「家庭教育」という「子の教育について第一義的責任を有する」ことを再確認していただき、子ども達が自らルールを守り、心と体を育成し、学習意欲を高められるように親として何が出来るかを基本に戻り、各部会と連携し、保護者の皆様の意見も反映できる活動に取り組んでゆきたいと思つています。

一年間よろしくお願ひします。



体育部担当 副会長

藤原 昭任

本年度「体育部」担当副会長をさせて頂いたきます。瀬戸田中学校ブロック代表、瀬戸田小学校PTA会長の藤原です。一年間どうぞよろしくお願いいたします。



体育部の担当は、親睦球技大会、体育事業の企画立案と運営になっています。中でも主な行事は、親睦ソフトバレーボール大会です。今年度もたくさんのご来賓の方々をお招きして、びんご運動公園を会場に9月13日(日)に開催されます。市内の中学校の保護者が一堂に会し、親睦が図られる予定です。

今年の大会テーマは、「笑顔でつなぐ尾道の輪和」です。「輪」とは、コミュニケーションです。子どもたちが安全に健やかに過ごすためには、家族と学校、地域が輪を結び協力していくことが不可欠です。次に「和」とは、和の文字の意味するとおり仲良くすることであり、調和がとれているということです。改めてPTA活動の理念を顧みるとき、「親と先生が連携し、子どもたちが健康で安全で楽しく健やかに学校生活を送ることを目的として活動する組織」です。この大会は、保護者や先生方の親睦が大きな目的となっています。まさに今年のテーマのように、本大会を通じてコミュニケーションを図り、保護者が仲睦まじく係り合いつながることができれば、PTAの活動理念の実践につながるものと期待しています。参加されるみなさんの輪・わ・和がはずみ、笑顔が溢れる大会となるよう準備をして参りますので、ぜひご協力をお願いいたします。

最後になりますが、今年一年、他の役員みなさんと共に、子どもたちのために今

できること、今しか味わうことのできない子育ての感動を大切にしながら活動して参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

文教部担当 副会長

村上 秀士

本年度、文教部担当副会長をさせて頂きます。向東中ブロック代表、向東中学校PTA会長をしています村上秀士です。



本年度は向東中ブロックが第十一回尾道市教育フォーラムの当番校として、十一月十五日(日)に尾道市公会堂において発表させて頂きます。

昨年度の浦崎・百島中ブロックのテーマは「二輪」〜未来へつながる地域力〜でした。浦崎小・中学校さんの親子2世代に渡り米作り体験をした「学校田」や浦崎伝統芸能である「神楽」は地域の方々と大切に受け継がれたものを感じました。また、百島小・中ブロックさんの学校・保護者・地域そして子どもたちが一緒に行事を行う地域ぐるみの様子がよくわかりました。今年度向東中ブロックのテーマは「かけ橋」〜すべてのものをつないでいく〜です。私たちの町向東町は、とても地域の力が強い街だと思っています。「地域は学校のために、学校は地域のために」子どもたち・保護者・学校・地域すべての人がつながり、そしてつないでいく。その様な向東町の特色ある取り組みをたくさんの方に知っていただければと思っています。また、アトラクションでも向東小・中学校ならではのものが出せるように練習をしています。向東からすべてのものをつなぎ、大きなかけ橋が尾道市内にたくさん架かるよう取り組みたいと思います。

当日参加されまます方々に何かとご迷惑を

かけることもあると思いますが、第十一回尾道市教育フォーラムを盛り上げて行きたいと思っておりますので、皆様方のご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

広報部担当 副会長

土屋 研

昨年度に引き続き副会長をさせて頂いたく土屋です。所属は栗原中学校ブロックの栗原中学校で副会長をしています。今年度は広報部担当となっています。



何年間かこの尾道市PTA連合会に係わらせてもらって感じたことは、個は様々な人と関わりを持ちながら生きていこうと言うことを実感したことです。

PTA活動も個人的には不可能です。やはり、子どもの育成という目標に向かって保護者並びに学校が協力をしながら活動しないと良い結果が生まれません。特に保護者は子どもが自立するまでの義務や責任が有ると思います。自分の時間を僅かでも割っていただいて、PTA活動に関わっていただき、子どものためだけに無く、自分の人間関係も広げていきたいと思っています。子どもが小学校・中学校と学年が上がってゆくように、子どもの成長に伴い親も親業の小学校の部・中学校の部と進学してゆくような気がします。

もう一つ思ったのは、これは私だけかもしれないませんが、心にゆとりが無いと物事に對して適切な判断・行動が出来なくなるような気がします。子どもを叱るときも、心にゆとりが無いと子どもの気持ちを理解できないまま、大人の基準で叱ってしまいます。同じように他人に接するときも同じですが、極力心にゆとりを持つように心がけてゆきたいと思っています。

話は変わりますが、今年度広報部としては、尾道市PTA連合会の活動状況を会員の皆様方に広く知っていただくためにホームページの充実と重点をおこうと思っています。そのために、執行役員会議の議事録を載せたり、各部の活動状況等をタイムリーにアップしてゆきたいと思っています。

おやじ部会担当 副会長

村上 晃一

おやじ部会の担当副会長をさせて頂いたきます。向島中ブロック村上晃一です。



昨年度に引き続き、今年度も皆さまのサポートを頂戴しながら、一年間がんばってまいりますので宜しくお願いいたします。

わたくしが市P連にお世話になって今年で6年目になります。現在、下の子が中学3年生なので、今年がPTA活動に携われる最後の年になります。

今まで諸先輩・同志の方々から様々な教えを頂き、可愛がっていただいたことに感謝し、その思いを形にできるような一年にしたいです。

若々しく、フットワーク良く「おやじ部会」の活動ができればと思っております。

おやじ部会の年間の主な活動は

・「みなと祭の食品販売」(焼きそば・おにぎり・お茶)

・「PTA会長・母代と教頭先生・総括事務長・事務長とのなかよし会」でのイベント等

・「因島地区PTA球技大会」へのチーム参加などです。

親がいきいきしている姿を見れば子どもたちも同じように、いきいきしていくと思います。あとどれだけの時間、子どもと一緒に過ごせるかを考えてみてください。

就職・進学・結婚等でいつかは私たちのもとを離れる時がやってきます。

その時が来るまで、全力で子育てをエンジョイしましょう！

「おやじ部会」という枠にとらわれず、様々な行事・催しへ積極的に参加することと、新しく今後につながっていける関係が築けたら嬉しいですね。

皆さん一緒に活動していきましよう。

おのみち母の会さくら代表 副会長 木曾 奈美

今年度も「おのみち母の会さくら」の代表をさせていただきます。久保中ブロック久保中学校の木曾 奈美です。



「おのみち母の会さくら」はお母さん達の情報交換の場です。昨年度に取り組んだ電子メディア対策については子どもとしっかり向き合い、話し合うことの重要性について勉強しました。今年度は家庭教育という柱で皆さんと学んでいきたいと思っています。子育ては正解がひとつではないので、何をしても悩みは尽きません。子ども一人ひとり、性格や思いも違えば、環境も違います。次から次へと課題を突き付けられます。私自身、親バカですが2人の娘たちが最高にかわいいです。『かわいい』『大切』と思えば思うほど子どもにかけたいや期待は大きくなっていき、いつも真剣に向き合い過ぎてしまいます。しかし、先日「今の保護者は子どもに向き合うことは上手だが、こころに寄り添うことが下手だ」という内容の講演を聞きました。こころに寄り添う＝同調することだそうです。子どもの心に寄り添うためには親の側に心の余裕を持たないと出来ないように思えます。仕事や家事、育児に追われる忙しい母にとって一番難しいことかもしれません。そんな忙しい中で集まっていたくのなら、「おのみち母の会さくら」が母として同じ悩み

を持つている方、経験してきた方とみんな語り合いながら情報交換をして、悩み解決のヒントを見つけていける場になればいいなと思っています。せっかくなので楽しみましよう。

今年度もよろしく願います。

中学校会長 会長 奥田 敏勝

今年度、中学校会長の会長を務めさせていただきます。美木中学校育友会会長の奥田敏勝です。



今年度は、副会長に石島さん(吉和中学校)・井上さん(高西中学校)・横さん(向島中学校)、書記に山田さん(長江中学校)という役員で運営して参ります。

今年度の中学校会長会としての活動は、
①各学期ごとに開催する会長会議での情報交換

②学校訪問

③親の道徳教育講演会(市P連本部及び小学校会長会と共同開催)

を予定しております。

また特に力を入れて取り組みたいのは、昨年度中学校会長会の活動に引き続き「スマホ・携帯電話」についてです。積極的に情報交換等をしていきたいと思っています。

スマートフォンや携帯電話の急速な普及に伴い子どもたちが犯罪・トラブル・いじめ等に巻き込まれる事例が後を絶たず、スマートフォンへの過度の依存が問題になっていきます。

親には、「持たせる責任」と子どもたちに「持つ自覚」を教える義務があると考えています。

そこで市P連の掲げる「家庭教育」の一つとして、スマホ・携帯電話の問題解決のために家庭でのスマホのルール作りを推進していききたいと思っています。

「PTAは何をすればいいんだろう?」「PTAは何ができるんだろう?」中学校会長会として単Pのお役に立てるような活動をしていきたいと思っています。

一年間よろしく願います。

小学校会長 会長 高橋 武也

今年度尾道市PTA連合会の小学校会長会の会長を仰せつかりました。西藤小学校の会長を務めております高橋武也と申します。



なぜ私たちはPTA活動を行うのでしょうか? 誤解を恐れずに言えば、それは紛れもなく「わが子」のためだと思います。PTAの役員から逃げることは簡単です。面倒な役割をさせて6年間を過ごす方が楽だと思っています。しかし本当にそれでいいのでしょうか?

それを我が子に置き換えて考えてみて下さい。「クラスの中で誰かが面倒な役割を引き受けなくてはならない」「誰かが貧乏くじを引かなければならない」というときに、自分の子にどう行動してほしいでしょうか。進んで手を挙げる子になって欲しいと思います。そうであるなら、親である自分がまず手を挙げる事ができる親にならなければいけません。PTAの活動を通じて、親自身が「率先垂範」の姿を見せることが出来るようにならなければいけませんし、そういう場にするべきだと思います。

PTA会長はその中心に立つ存在です。学校の大小や地域のカラはそれぞれ違いますが市内の会長の連携を深めて、尾道市内のPTA活動を盛り上げていければと思います。微力ながら一年間頑張りたいと思いますのでご協力をよろしくお願いいたします。



広報紙コンクール優秀賞受賞

小学校PTAの部

優秀賞	尾道市立土堂小学校育友会	Ti-PRESS
優秀賞	尾道市立栗原小学校育友会	栗っこタイムズ
優秀賞	尾道市立三幸小学校PTA	MIYUKI LIFE
優秀賞	尾道市立日比崎小学校PTA	ひびざき

中学校PTAの部

優秀賞	尾道市立高西中学校PTA	鶴羽ヶ丘
優秀賞	尾道市立向東中学校PTA	地の塩